

グローバルサイエンスキャンパス (GSC)
令和2年度全国受講生研究発表会 審査の方法について

※主な更新部分に下線を引いております。

1. 事業趣旨

GSC は、将来グローバルに活躍しうる次世代の傑出した科学技術人材を育成するため、地域で卓越した意欲・能力を有する生徒の幅広い発掘と、選抜者の年間を通じた高度で実践的な育成を行い、将来有為な国際的科学技術人材として必要な能力を獲得させ、その意欲、能力を更に伸ばしていくことを目的とする。

2. 採択機関 (GSC「情報科学の達人」育成官民協働プログラムを含む)

平成29年度：静岡大学、神戸大学

平成30年度：東北大学、東京農工大学、慶應義塾大学、愛媛大学、九州大学、琉球大学

平成31年度：宇都宮大学、東京大学、広島大学、国立情報学研究所

令和2年度：千葉大学、金沢大学

3. 事業の企画実施期間、JSTからの支出費用

事業の企画実施期間は最大4年間、1機関あたり年間2,500万円～3,000万円程度を支出する。

4. GSC推進委員会 (本発表会においては審査委員会)

委員長 大路 樹生 名古屋大学博物館 教授

副委員長 隅田 学 愛媛大学教育学部 教授

伊藤 哲史 京都大学大学院理学研究科 准教授

瓜谷 輝之 株式会社日本ヒューレットパッカート経営企画本部
政府・公共渉外 統括部長

大倉 典子 芝浦工業大学 SIT 総合研究所 特任教授

西嶋 美保子 アドビ株式会社法務・政策渉外本部
政策渉外担当シニアマネージャー

西本 昌司 名古屋市科学館 主任学芸員

野村 和弘 学校法人河原学園 未来高等学校 校長

福田 公子 東京都立大学理学研究科 准教授

(令和2年9月23日時点)

5. 参加機関：18機関

- ・「2. 採択機関」に記載の14機関
- ・過去に採択された機関で参加を希望した4機関（大阪大学、筑波大学、北海道大学、埼玉大学）

※上記参加機関は全て審査・表彰の対象です。

6. 審査員

一次審査では、各実施機関より審査員を3名程度選出し、審査委員会と協働して一次審査を行う。ただし、審査員と利害関係にある機関（または受講生）の審査は行わない。なお、二次審査は審査委員会のみで審査、各賞の選定を行う。

7. 表彰

優れた成績を収めた受講生に対し、文部科学大臣賞、科学技術振興機構理事長賞、審査委員長特別賞および優秀賞を授与する。

（いずれの賞も共同研究者がいる場合は、共同研究者にも授与される。）

・ 文部科学大臣賞

研究内容、口頭発表に鑑み、最も優れた成績を収めた受講生に授与される。（1件）

・ 科学技術振興機構理事長賞

研究内容が科学技術の発展に寄与するものであるとともに、研究への取組や口頭発表におけるプレゼンテーションに工夫や努力が認められる、特に優れた成績を収めた受講生に授与される。（1件）

・ 審査委員長特別賞

GSC 事業趣旨に鑑み、審査委員長の判断に基づき、優れた研究成果・成績を収めた受講生に授与される。（1～2件程度）

・ 優秀賞

研究内容、プレゼンテーションに鑑み、優れた成績を収めた受講生に授与される。（6件程度）

8. 審査方法

◆一次審査：令和2年10月23日（金）14:00～30日（金）17:00

- ・審査委員会および審査員によって審査を行い、二次審査対象者を選定する。
- ・研究発表件数は、1機関あたり3件以内とする。
- ・各受講生が準備した10分間の口頭発表動画を、YouTubeにGSC関係者間に限り公開し、各自で所有するPCやスマートフォン等から視聴し、審査やYouTubeのコメント機能を用いた意見交換を行う。
- ・実施機関名、テーマ、動画URL、研究成果の要約(PDF)等の一覧表をWeb上に掲載し、審査員および参加者(GSC受講生、教員等)に限り公開する。なお、エントリーシート、審査要領、評価表は審査員にのみ別途送付する。
- ・プレゼンテーション資料は英語で作成する。ただし、発表および質疑応答に用いる言語は日本語または英語(任意)とする。
- ・審査割り当てについては、専門分野や希望等を考慮のうえ事務局にて決定する。
- ・審査員は、研究発表動画(質疑応答含む)、エントリーシート、研究成果の要約の内容をもとに、審査要領に沿って審査を行う。
- ・発表に対する質疑応答は、YouTubeのコメント機能を用いる。審査員からの質問に対しては優先的に回答するよう発表者には通知予定。
- ・各発表に対して5名程度の審査員が独立に研究内容および発表内容について審査し、各審査員は評価シート(参考2)の評価項目欄に要素点を記入する。要素点は以下に示す5段階で行う。

(要素点)

- 5 : 優れて達成している
- 4 : やや優れて達成している
- 3 : 概ね達成している
- 2 : やや達成が不十分
- 1 : 全く達成できていない

- ・各評価項目欄に記入された要素点の合計をもって、当該研究発表の得点とする。各審査員が独立に審査した得点の平均点をもって当該研究発表の審査基準点とする。
- ・審査委員会は、原則として審査基準点が3.0以上を満たす得点の高いものについて合議のうえ、10件程度の二次審査対象者を選定する。
- ・二次審査対象者は、令和2年11月6日(金)に発表する。

令和2年7月
令和2年9月28日更新
令和2年10月20日更新
JST 理数学習推進部

◆二次審査：令和2年11月15日（日）10:10～14:30 ※休憩含む

- ・審査委員会によって審査・合議を行い、二次審査対象者から各賞の選定を行う
- ・運営本部とサテライト会場（各実施機関が用意する会議室等）を中継でつなぎ、オンラインによる口頭発表・質疑応答等を実施する。一次審査通過者および参加者は、原則、サテライト会場に集合して二次審査等に参加する。なお、サテライト会場からの参加ができない場合は、各参加者が自宅等から個別に参加する。
- ・発表時間は10分間、質疑応答は5分間とする。発表および質疑応答に用いる言語は日本語または英語（任意）とする。
- ・口頭発表および質疑応答はZoom等にてライブ配信する。詳細は別途連絡する。

以上

(参考1) 文部科学大臣賞等各賞の選出方法



① 口頭発表動画の審査

- ・研究課題1件につき10分の口頭発表動画を作成。
- ・ひとつの動画につき5名程度の審査員が視聴し、審査する。

② 審査結果の集計

- ・5名程度の審査員が付けた要素合計の平均点をもって、当該研究課題の審査基準点とする。

③ 審査委員会での審議

- ・審査基準点をもとに総合的に判断し、口頭発表者を10件程度を選出する。



④ オンラインによる口頭発表の審査

- ・審査委員会委員が発表を聴取する。
- ・質疑応答は、発表会の参加者全員から受け付ける。



⑤ 審査委員会での審議

- ・研究内容および口頭発表動画、二次審査の内容を総合的に判断し、各賞を選出する。



⑥ 各賞の決定

- ・同日、表彰を行う。
- ・審査コメントおよび賞状・賞牌は後日発表者へ連絡・郵送する。

令和2年7月

令和2年9月28日更新

令和2年10月20日更新

JST 理数学習推進部

評価表

グローバルサイエンスキャンパス令和2年度全国受講生研究発表会

審査員:

(所属機関)

発表
番号

評価の 카테고리	観 点	評 価
目的・意義	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの目的が明快であり、かつ自分なりの独創的な視点が含まれている。 	5
研究の背景・意義	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの学問的・社会的意義や位置づけをよく理解できている。 	5
方法	<ul style="list-style-type: none"> 適切な実験、観察、調査等が計画されており、方法に創意工夫が認められる。 (チーム研究の場合)チームメンバーの強み・個性が活かされ、分担あるいはシナジーによるプラスの効果が発揮できている。 	5
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 課題や困難な点に、粘り強く、柔軟かつ自立的に取り組んでいる。 	5
結果と考察・成果	<ul style="list-style-type: none"> 得られたデータや結果に基づき、論理的、多角的かつ深い考察ができている。 	5
成果	<ul style="list-style-type: none"> 新たな発見・発明や独自の研究方法の開発など、学問分野やテク/ロジーあるいは社会への貢献が認められる。 	5
発表	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマや成果等のポイントがよく整理され、わかりやすい発表ができている。 ルールに従った資料の作り方をしっかり踏まえている。研究倫理や生命倫理(対象分野のみ)に配慮している。 	5
今後の発展性	<ul style="list-style-type: none"> 挑戦的な研究テーマに取り組んでいる。 研究の内容が独創的あるいは極めて高い水準に達している。 国際的に活躍する次世代の傑出した科学技術人材として期待される。 	5
【5段階評価の基準(絶対評価)】		0
5: 優れて達成している 4: やや優れて達成している 3: 概ね達成している 2: やや達成が不十分 1: 全く達成できていない		40

【コメント記入欄】※発表者にフィードバックします。

令和2年7月
令和2年9月28日更新
令和2年10月20日更新
JST 理数学習推進部